

古代 CTS-60 錠

技研「イタリア」対応取付説明書



締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。

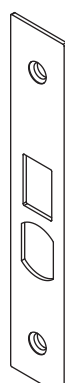
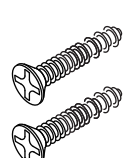
電動ドライバーは使用しないでください。

ねじ穴の破損および本体などを傷めるおそれがあります。

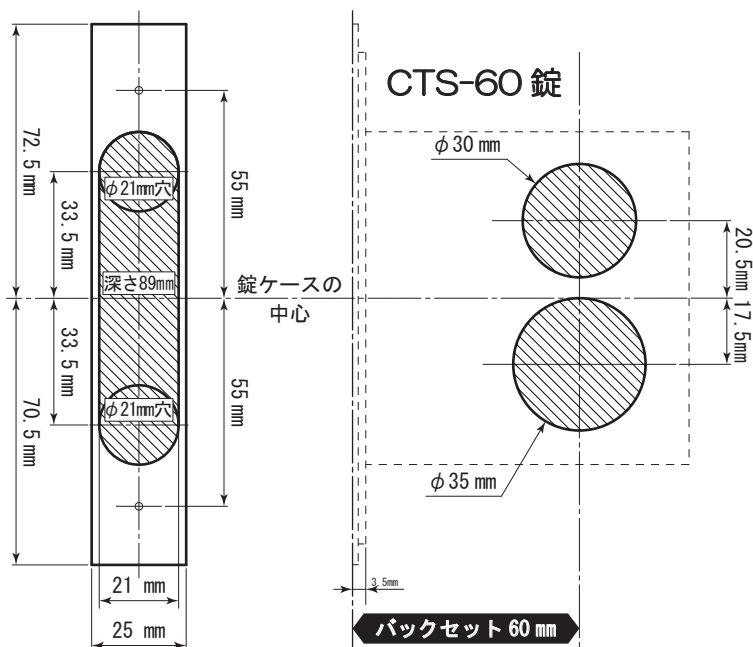
取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けて下さい。

梱包内容一覧

表を参照し、部品の有無をご確認ください。

 <p>① CTS-60 錠 技研イタリア対応フロント板 1 枚</p>	<p>皿コンビねじ M4×25 SUS 生地</p>  <p>② 錠固定ねじ 2 本</p>
---	---

参考切欠図 S=1:2

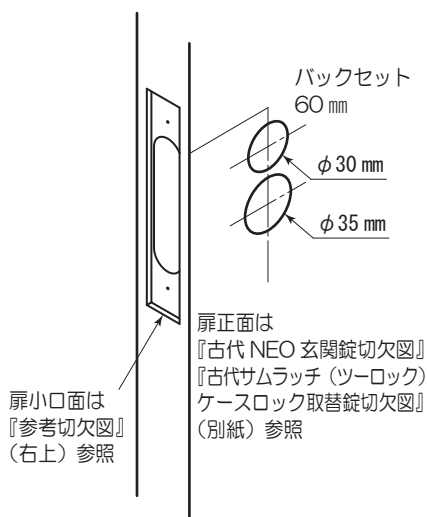


1 切欠き加工の追加

※ 3 の取付確認が終わるまで、扉は閉めないでください。(クサビ等で固定するとよい)

I: 現行の金物を取り外してください。

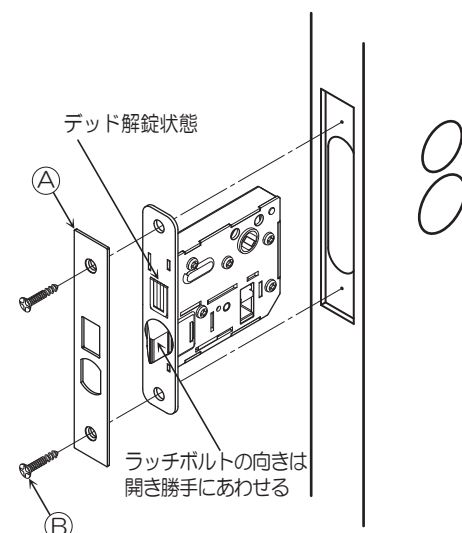
II: 参考切欠図(右上)と別紙、『古代 NEO 玄関錠切欠図』『古代サムラッチ(ツーロック)ケースロック取替錠切欠図』を参照し、扉に追加加工を施します。



2 錠とフロント板の取付

I: CTS-60 錠と、①技研イタリア対応フロント板を扉にセットし、②錠固定ねじで取り付けます。

※: CTS-60 錠は、ラッチボルトの向きを開き勝手にあわせ、デッドは解錠状態でセットします。



3 取付確認

I: ラッチボルトの向きと作動を確認後、②錠固定ねじ 2 本を固定します。

※ 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。

II: 『古代 NEO 玄関錠 取付説明書』『古代サムラッチ(ツーロック)ケースロック取替錠 取付説明書』を確認しながら、本体を取り付けます。

